

自然エネルギー財団シンポジウム  
『食とエネルギーの  
テーマパークが描く未来』

2026/1/30  
株式会社さがみこファーム 山川勇一郎

# 相模原市の山間部 山々に囲まれた農地





**大粒ブルーベリー!**  
**36種類が食べ放題!!**



**10万匹のミツバチ  
自家製はちみつも**

# ポット養液栽培 パネルの下はひんやり涼しい



# 2019年から事業スタート 1,100本のブルーベリー栽培





- 相模原市初のソーラーシェアリング
- 体験農園『さがみこベリーガーデン』を運営
- 去年は3シーズン目で、約3,000人/年が来園

# 会社概要



## たまエンパワー株式会社

創業：2015年

本社：神奈川県相模原市

代表者：山川勇一郎

事業：

- ・太陽光発電事業（屋根・営農型）
- ・コンサルティング事業
- ・O&M事業



## 株式会社さがみこファーム

創業：2019年

本社：神奈川県相模原市

代表者：山川勇一郎

事業：

- ・観光農園事業
- ・生産・加工事業
- ・教育・研修事業

※農地所有適格法人・認定農業者

・理念：「食とエネルギーで自然と調和した地域の未来を創る」

・特徴：発電と農業の一体経営

・ポリシー：「地域共生」と「農業主体」



資源エネルギー庁  
地域共生型  
再エネ事業顕彰



相模原市  
SDGsアワード2024  
市長賞



多摩信用金庫  
多摩ブルーグリーン賞  
多摩みらい賞



神奈川県  
第1回かながわ  
脱炭素大賞



太陽光発電協会  
ソーラーウィーク大賞  
優秀賞



ドミノピザ  
産直ドミノアワード  
スマート農業部門

# 事業概要



- ・相模原市緑区青野原前戸地区
- ・周辺一帯は神奈川県の水源地
- ・キャンプ場が多い自然豊かなロケーション
- ・橋本駅～車で30分の都市に近い田舎
- ・典型的な中山間地。過疎化・高齢化が進行、公立中学の生徒は1学年わずか7名
- ・地権者の大半は農地の維持・管理に困っていた。(※農振農用地・地域全体で4ha)

『地域課題に正面から向き合わねば、単にソーラーシェアリングだけやっても意味がない』という強烈な問題意識。2019年事業開始

## 設備概要

	設備容量(DC) (kW)	設備容量(AC) (kW)	過積載率 (%)	運転開始 (年・月)	モジュール	栽培作物
前戸1号	85.66	49.5	173%	2020.8	片面・産業用	ブルーベリー
前戸2号	57.96	49.5	117%	2021.4	片面・短冊形	ブルーベリー
前戸3号	85.8	49.5	173%	2020.8	片面・産業用	ブルーベリー
前戸4号	42.16	38.5	109%	2021.4	両面・産業用	ブルーベリー
前戸5号	11.55	9.9	116%	2024.2	両面・産業用	ブルーベリー
前戸6号	29.7	24.75	120%	2024.5	両面・産業用	ブドウ
合計	312.83	221.65				

前戸7号                      300                      267                      112%                      2025.7                      両面・産業用                      イチジク・レモン

・設備容量(合計)：612kW(DC, FIT, NON-FIT CPPA)

・ブルーベリー栽培で2haの農地を再生・維持。体験農園化することで域外から人が訪れ、地域に賑わいと雇用が創出されている。(来訪者:年間3,000名、地域雇用:15名)

・経営的には、農業事業のみで黒字化。(農業収入 > 売電収入)

・農転は、3年×2回更新。認定農業者の資格を2025年に取得し、10年に期間延長

# 地域課題に対する仮説とアプローチ

## 負のスパイラル

鳥獣害

狭い農地

重労働

農業で食っていけない

そもそも  
地域に  
仕事ない

息子に継がせたくない

困っているが、  
よそ者には農地  
を貸したくない

地域の若者流出

移住者定着しない

荒廃農地  
の拡大

過疎化・高齢  
化が進行

## 地域の衰退

地方は水・食・エネルギーの生産地

地方の問題 = 都市の問題  
= 日本全体の問題

## 正のスパイラル

ソーラーシェアリン  
グで売電収益の  
確保

栽培方法の工夫  
で生産性の向上と  
品質を担保

地域資源を活用し  
て人を呼び込む  
(観光)

体験教育による付加  
価値と人材育成  
(教育)

様々なステークホルダーを呼び込み、  
関係人口を増やし、地域に賑わいを創出

地域に新たな  
仕事を作る  
(未来への希望)

水・食・エネルギー  
インフラ維持  
(公益的な事業)

- ・農業で稼ぐ(=農業主体)
- ・地域と共に歩む(=地域共生)
- ・地域に「希望のある事業」をつくりたい

# なぜ、“ブルーベリー”だったのか？



- ①日照特性（単純遮光率：35-45%）
- ②気候特性（周辺に同業者あり）
- ③栽培特性（病虫害に強い/農薬使用減）
- ④立地特性（観光道路/キャンプ場多）
- ⑤市場特性（需要の拡大/市場価格高）

・「ブルーベリー狩り」は、人々の**共感**を得られやすい  
その一方で、品種による差や、生果の取り扱いなど、**特有の難しさ**がある

▶ 栽培はそれなりにできる。ただ、経営を安定させるには**様々な工夫が必要**

# 36種類のブルーベリー狩り 会員制体験農園『さがみこベリーガーデン』



**食とエネルギーの地域生産**  
(再エネと食の自給率向上/脱炭素)



**未来志向の栽培方法**  
(養液栽培で**品質・収量・効率**の担保)



**多様な雇用の創出**  
(地域住民、子育てママなど**15名**)



**6次化へのチャレンジ**  
(加工品製造・販売/観光振興)



**体験農園化**  
(おいしい/楽しい 体験価値の創出)



**会員制農園**  
(法令順守・収益化・コアファン化)  
**個人会員540名、法人会員11社**

▶ 様々な要素の**掛け算**/単なる農業生産以上の**付加価値**を創出

# 地域共生の取り組み

## 【防災】



### 前戸自治会との災害時の電源無償供給協定の締結

- ・自立電源からポータブル電源への充電→ご近所でシェア
- ・防災訓練の定例化

## 【教育】



### 小中学校の職場体験受入 探究授業への協力

- ・地域に誇りを持ってほしい
- ・将来の就職先の受け皿に
- ・教職員向け研修の受入 など

## 【障がい者雇用】

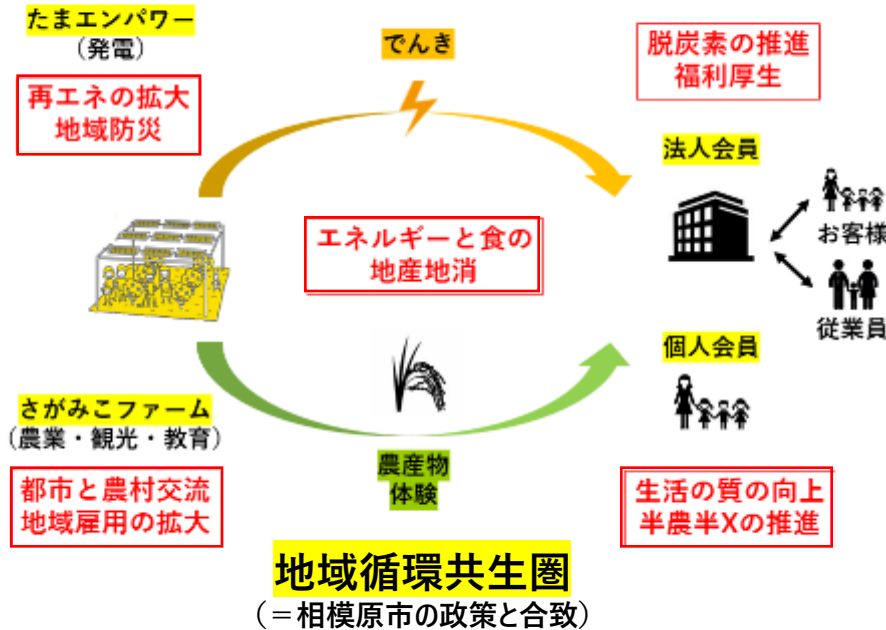


### 就労支援B型事業所と農福連携

- ・ジャム・ソース・ハチミツなど加工品製造や農作業委託
- ・4事業所と緊密に連携

- ▶ 地域にとって「さがみこファームが来てよかった。」と思ってもらえる存在に
- ▶ 「自分たちが抵抗勢力」だと思って、地域と長期的な関係を構築する

# 食と電気を軸にした地域づくり



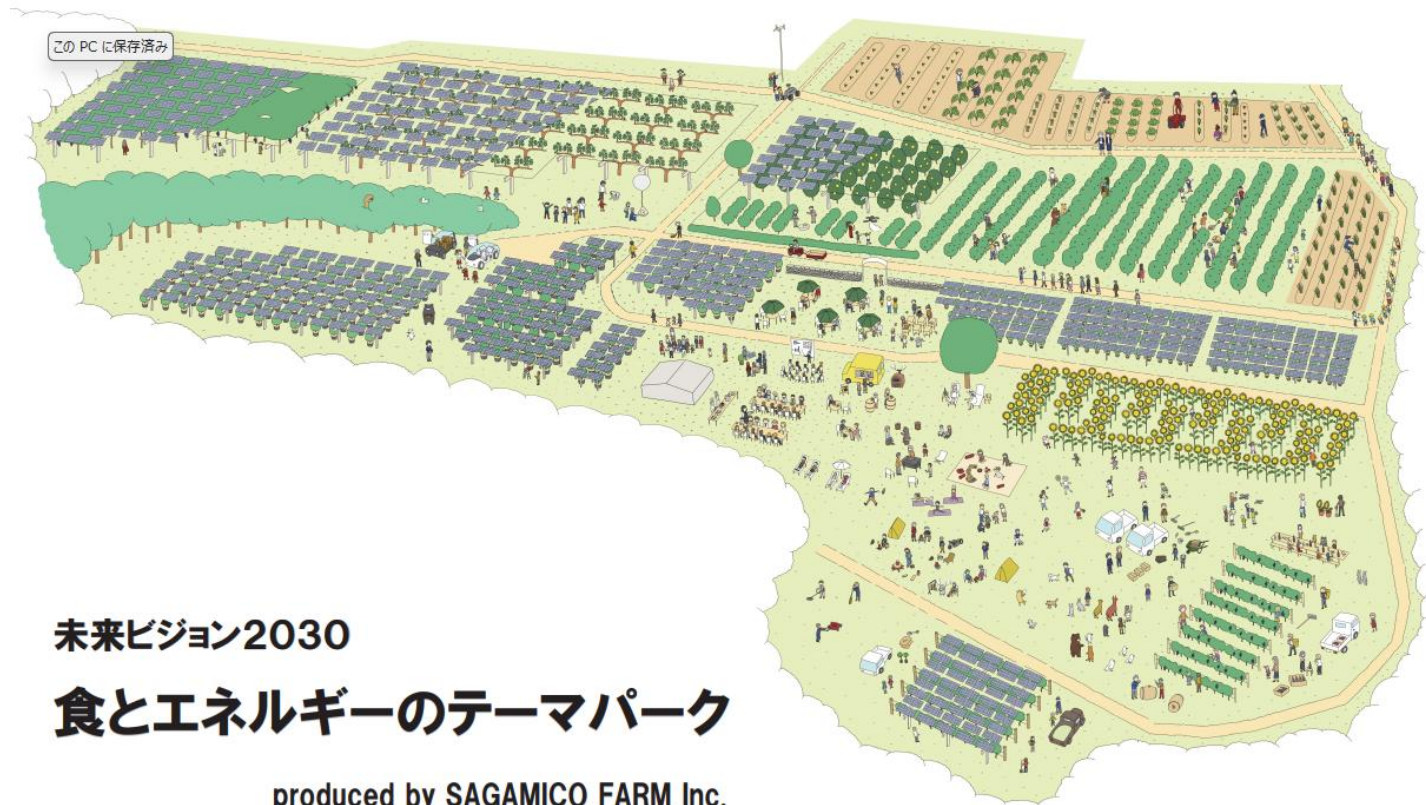
## 生活クラブと電源開発プロジェクトスタート (合計2MW,オフサイトCPPA,農地面積:7ha)

- 2024.3 パイロットサイト (40kW, Non-FIT, CPPA, ワインブドウ)
- 2024 共同プロジェクト 開始
- 2025.7 第1期 運転開始 (300kW, Non-FIT, イチジク・レモン)
- 2026～ 第2・3期 計画進行中 (1.7MW, Non-FIT, CPPA, 大豆など)

- 「電気を買いたい」市内企業からのオファー  
⇒ 「食と電気を軸にした地域づくり」逆提案  
⇒ 「コーポレート会員」を新設 (現在11社)

電力のみならず、福利厚生、社員研修などの農園利用、物販、イベントの共同実施など、多面的に関わる枠組み

# 「食とエネルギーのテーマパーク」



未来ビジョン2030

食とエネルギーのテーマパーク

produced by SAGAMICO FARM Inc.

- ・生活クラブとの共同で発電所を建設(300kW)
- ・イチジクやレモンの栽培/収穫シーズンの延長/ブルーベリーとのシナジー
- ・同エリア一帯を、食とエネルギーの生産・交流・教育拠点に

▶新規参入や、事業改善を図りたい企業ニーズの高まり⇒サポート事業開始

# 「農業主体」の意味



- ・大事なのは、**農業経営として「自走」**すること。
  - ・ポイント①：**栽培管理**（高品質・収量の確保・安定的な生産）
  - ・ポイント②：**出口戦略**（年会員・生活クラブなどの大口顧客...）
  - + 既存の農業関係者との関係構築（農協・農業委員会・果実組合...）
- ▶ **売電収入に甘えない**。農業の素人から始めて6年。やればできる。  
まず、**農業者として、地域や同業者に認められる存在になること。**

# 『ソーラーシェアリング型農業』の追求

## 【日陰効果】



### パネルの日陰による効果

- 高温障害や蒸散の抑制
  - 夏場の農作業の負担軽減
  - 来訪者の満足度向上
- ※山形大学との共同研究中  
(日陰による農作物への影響)

## 【設備活用】



### 太陽光架台の農業利用

- 架台を活用した鳥よけネットの設置方法の確立  
(コスト:従来の1/4※当社比)
- 架台の栽培用設備への応用

## 【エネルギー利用】



### オンサイトのエネルギー利用

- 農業用ハウスに電力供給
- 農機具の電化・太陽光で充電  
(農業のゼロエネルギー化)
- スマート農業インフラとして活用も

➤ 「カッコよくて、稼げて、環境にいい」、若者が憧れる農業の形をつくる。

➤ ポイントは「**掛け算**」。

# 『ほしい未来は、つくろう。』

by greenz.jp

- ソーラーシェアリングは、クリエイティブで、可能性にあふれた世界に誇るべき技術。
- ただ私たちは、まだその可能性を十分に活かしてきていない。
- ダメな事業者を憂うより、いい事例をたくさん作ることが大事。そうした実践者を、心ある人たちが全力で応援しよう!!
- ソーラーシェアリングの可能性を信じて、自分たちの地域で、「ほしい未来」を、自分たちの手で作っていきましょう!!

# Information

## 視察・団体ツアー



企業・行政・同業者等、視察多数  
(※通年実施・予約制) ↓ ↓ ↓



## ブルーベリー狩り



6-8月(※5月予約開始)  
▶「さがみこベリーガーデン」  
で検索

## 援農



季節の農作業(※直近2月)



▶業務拡大につき、人員体制を強化。  
私たちと一緒に社会課題に挑みたい人は直接お問い合わせください。